



**その2
高めよう村の風土と文化**

みなさんも参加してみませんか
平成5年度

生涯学習の推進は、いまや時代の要請となっています。当村でも「岩室村生涯学習推進基本構想」が策定され(昭和62年度)、生涯学習体制の推進・整備が進められてきました。

「岩室村をよくするには、まず村のことをよく知り、理解することが大切」と始めた「おらが村岩室ふるさと講座」の姉妹編と位置づけられているこの講座。岩室村をさらに住みよい村にするため、「文化水準の高い岩室村」を目指すことを目的としています。

そのためには、もっと専門的で質の高い文化を対象とした学習も必要であるとの考え方から、村内のみにこだわらず、他の地方の優れた伝統文化に触れられるような、そんなイベントを各種用意しました。

◇ ◇ ◇ 先月、二つのイベントが開催されました。

八日には、「小さな村での大きなコンサート」でおなじみの「ふれあいコンサート」が行われ、一流アーチストが奏てる生の音楽に触れることができました。

また、十一日から二十三日までの間、公民館講堂では「能面」と「能舞絵」が展示されました。これは和納在住の吉川喜八郎父子による作品群で、日本の伝統文化である能

時期	内 容
3月下旬	おれたちの花 (雪割草)
10月1日～14日	芸術を愛する 人・人・人…展

◆今後予定されている講座

8月上旬
10月中旬

8月7日

8月7日

内 容

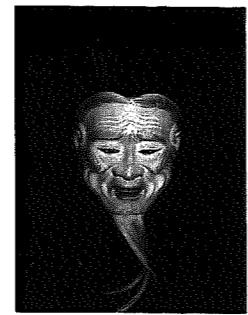
老舗と
盆踊りの輪と音頭

廣がれ、響け

の世界の一端をかい見るこ
とができました。

◇ ◇ ◇ この講座では、これからも盛
りだくさんなイベントを用意し
て、皆さんのお越しをお待ちし
ています。

ぜひ一度参加して、資質の向
上を図つてみませんか。



――文化水準の向上を目指して――

「岩室村をよくするには、まず村のことをよく知り、理解することが大切」と始めた「おらが村岩室ふるさと講座」の姉妹編と位置づけられているこの講座。岩室村をさらに住みよい村にするため、「文化水準の高い岩室村」を目指すことを目的としています。

そのためには、もっと専門的で質の高い文化を対象とした学習も必要であるとの考え方から、村内のみにこだわらず、他の地方の優れた伝統文化に触れられるような、そんなイベントを各種用意しました。

◇ ◇ ◇ 先月、二つのイベントが開催されました。

八日には、「小さな村での大きなコンサート」でおなじみの「ふれあいコンサート」が行われ、一流アーチストが奏てる生の音楽に触れることができました。

また、十一日から二十三日までの間、公民館講堂では「能面」と「能舞絵」が展示されました。これは和納在住の吉川喜八郎父子による作品群で、日本の伝統文化である能



――ふれあい、交流をもとめて――

その4 村民一人一スポーツ事業

幸い当村には、海岸・山地・平原とそれぞれの特質をもったスポーツ活動のできる恵まれた環境を

もっています。この恵まれた環境を生かし、スポーツを通して「健康管理」や「仲間づくり」に取り組んでみてはいかがですか。

▼予定されている主な講座

時期	内 容
6月11日～25日	「ゲーム・レクリエーション教室」指導者講習会
8月1日	親子水泳教室
8月7日～8日	小学生宿泊研修の集い & 炎と親子の集い
10月19日	保育園児と高齢者による「ふれあいミニ運動会」
12月12日	クリスマス大集会 「ミニコンサートとレク」

生涯学習計画

今年度も、「おらが村岩室ふるさと講座」「高めよう村の文化と風土」「むらおこしするさとふれあい講座」「村民一人一スポーツ事業」の4つのプログラムが皆さんをお待ちしています。

時期	内 容
9月12日	ふるさとの「名水探訪」
8月22日～30日	「間瀬大工」出稼集団の「巧みを訪ねて」
8月21～29日	「自然に学ぶ『螢と野外コンサート』のタベ」
7月10日	「ハザ木のある景観写真展」

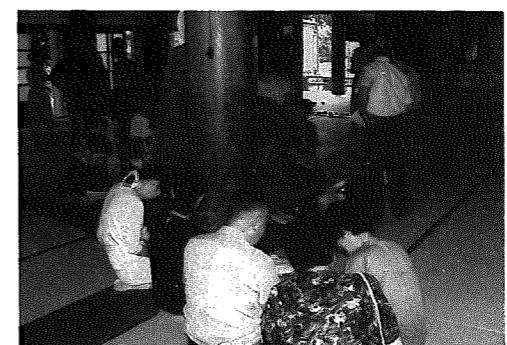


『岩室村民憲章』の中でもうたわれているように、郷土を愛し、岩室村民であることに誇りを持つことが、村づくりの原動力になり、村民の生きがいにもつながる、ということが始まつたこの講座。

「みんながガイドになろう」を合言葉に、村民総案内人として村づくりに参加してもらうと共に、村民に心のよりどころとして故郷意識を育てつつあります。

そこで今回は、現地探訪などにより地域への密着を図りながら、村づくりの活動の一端を担う学習を取り入れ、みんなで楽しみながら行えるメニューを用意しました。

『ふるさとの空間』ハザ木のある景観写真展では、農村景観百選に選定された夏井の「ハザ木」の写真を展示。近年失われつある農村特有の景観を見つめることにより、地域理解を深めます。また「ふるさとの名水探訪」甘露の湧水を歩くでは、近年まで山麓の人々の生活水として私たちと深くかかわってきた、多宝山脈の自然の恵みの湧水を訪ねることで、風情を感じ、風流を楽しみ、今日の環境を再考します。

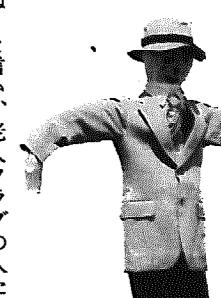


この講座は、
①高齢者活力の活用
②各世代が連携した地域おこし運動の推進
ことにより、当村の特産物である「甚句えだまめ」の産地拡大を図ることを目標として行われているものです。

毎年参加者から大好評をはくしているこの講座。園児らは、おじいちゃん・おばあちゃんの手慣れれた作業に「さすがだね」、「上手だ

ね」と言い、老人クラブの人たちは、自分の孫のよくな園児たちに「こうやって植えるんだよ」と樂しそうに教えてくれます。

この講座では、毎年高齢者の人たちと園児たちの間に、「ふれあい交流」の大きな果実が育つています。



むらおこし ふるさとふれあい講座

高齢者と園児との楽しいふれあい交流

時期	内 容
8月下旬	・閉講式
8月下旬	・収穫
6月～	栽培管理
6月中旬	・開講式
6月中旬	・直書き

